

# 学校関係者評価公表シート（令和元年度）

学校法人東粉浜幼稚園学校関係者評価委員会

令和2年3月31日

## ○ 学校関係者評価委員会の意見

令和元年度第1回評価委員会を令和2年3月31日に開催した。

本年度の本園の取り組みについて

### (1) 本年度の教育目標・重点課題・具体的な取り組み

- ・ 本園のよき伝統(徒歩通園・夏祭りの和太鼓・ハイレベルな生活発表会等)が守られ新しい息吹(英語指導・幼小中交流・チアリーディング等)が感じられる幼児教育が行われている。
- ・ 心穏やかなやさしい純粋な子どもが育っている。
- ・ 子どもの持てる力の開発に余念のない取り組みがわかる。

△ 体力は低いようであるが、楽しく元気に園庭で遊ぶ園児の姿が見られるのは、保育の成果といえる。

- ・ 園児、保護者が一番期待していた生活発表会がコロナ感染よぼうのため、大阪府全域臨時休園となったことが心残りである。

しかし、感染者が広がり、感染者がでることを思えば最良の策と考えねばならない。

(評価 B)

### (2) 放課後自由あそびについて

- ・ たくさん子ども達が放課後園庭で楽しく遊んでいる。当初の一定の成果は得られている。曜日の設定も工夫されているのがよくわかる。
- ・ 子どもの遊びの姿を目の当たりにできてよいことだと思う。
- ・ 毎月の園たよりに毎月設定され定着してきた。

△ 安全の確保に万全を期すことが一番である。

△ 保護者の手伝いは、責任はとれないからと消極的である。

(評価 B)

### (3) 食に関する指導(弁当給食)について

- ・ 月1回手作り家庭弁当は、保護者の負担が減るとともに、子どもからの「ありがとう」

の

声が聞かれるようになり、自園給食はありがたい。

△ 長期休業中の預かり保育での給食はこのままでよい。保護者は給食を歓迎している。

(評価 A)

### (4) 英語教育について

- ・ 内向的であった子どもが、回を重ねるにつれて、積極的に話すようになってきた。
- ・ 英語の時間を楽しみにしている子どもが育っているように思える。

(評 価 A)

(5) 作品展

- ・ 会場の多目的ホールには、「みんなの歌」を統一テーマにした造形作品が並んでいた。どの人形も個性的でかわいかった。先生方の力添えも分かり嬉しくなった。
- ・ 描画作品も一年間の子どもの歩みが分かり、年々成長しているところがわかった。

(6) 餅つき大会

- ・ 今年も父親有志が35名が参加され、互いに交代しながら餅つきが実施され、和気あいあいとした雰囲気の中で、園児は園長と代わるがわるに鏡餅をつきあげていた。緊張する子、やる気満々な子等の姿が見えた。年々園行事に協力的な父親の姿が見られるようになってきていると思う。

○ 評価委員会のまとめ

- ・ 園の長期にわたる伝統的な教育活動と新しい風を取り入れ、きめ細やかな教育活動が行われている。  
次代を担う子どもの基礎・基本づくりに期待している。
- ・ 保育修了式(卒園式)は、来賓ご辞退等、規模縮小で行われたが、いつものように心温まる式を挙行していただき喜んでいただいている。修了証書授与のときの園長の「おめでとう」園児の「ありがとうございます」のやり取りは見ていて、厳粛で微笑ましく思える。  
先行き不透明な感染症であるが、入園式も行っていたいただきたいと願っている。

(総合評価 A)

令和2年3月31日